



伝説の岩 亀が、兄の頼朝に遇われて、奥の細道を渡るため、山伏に化装し井原等とともに都落ちした。途中越前の山中に3日間滞り、その時、京都の賀茂神社の分神を懸る中新庄の賀茂神社に参拝し、奥の細道を新羅した。参拝途中、形勢の急変で、山伏が小休止したと伝えられている。



戸谷古墳 6世紀頃の円墳である。八幡神社の北側の戸谷川の中流の川の小島にあり、石室の大きさは縦400cm、横130cm、深さ130cmで90cmの入口がある。石室の上の層板は、一辺740cmの大岩が2枚がせてある。古代この地に住んでいた豪族の墓である。



蓮池 戸谷町の東方の山麓にある池。古くから八幡神社等に供える水として、又山麓に住む住民の飲料水として大事にされてきた。この池の水の流れる下方に大きな池があり「山麓池」や水蓮の花咲く池があったのでこの名称がついている。



三ツ屋町 下屋敷 46番地 三ツ屋町公民館



戸谷の大杉 八幡神社には、杉、榎、くぬぎ、しい、いちよう等多様な樹木が生えている。中でも樹齢400〜500年といわれる大杉が12本ある。社伝によれば、賀茂神社が戸谷城を築く時現在の日本橋の地に神社を移転し社地を整備した時の杉とされている。



下屋敷46番地 賀茂神社が、天正年間(1573〜1592)兵乱のため火災にあい、社殿悉く消失した際、移築したのがこの地であった。社殿の建っていた下屋敷46番地は、現在の消防ポンプ小隊前あたりである。



忠魂碑 戦争で亡くなった人を祀る碑。



北新庄小学校 北新庄公民館 北新庄郵便局 北新庄郵便局 北新庄郵便局



忠魂碑 戦争で亡くなった人を祀る碑。



北新庄小学校 北新庄公民館 北新庄郵便局 北新庄郵便局 北新庄郵便局



忠魂碑 戦争で亡くなった人を祀る碑。



北新庄小学校 北新庄公民館 北新庄郵便局 北新庄郵便局 北新庄郵便局



大井郡代謝恩碑 江戸時代に杉崎は幕府領であり、岐阜県高山市におかれた高山郡代の支配地であった。天明の飢饉では杉崎でも飢死者が出るほどの災害にみまわれたが、大井郡代の善政により多くの人命が救われた。この恩に感謝するため、この石碑が作られ、高山方向に向けて建てられていたと伝えられる。碑文は「大井郡公の御恩」となっている。



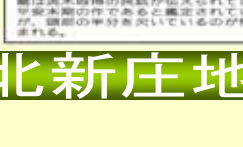
石仏釈迦坐像 江戸時代に岡根氏が建造した。岡根氏が明治初期に北海道に転出した以降は宮下氏が継承している。かつては4月8日の釈迦誕生祭には花団子が振舞われた。



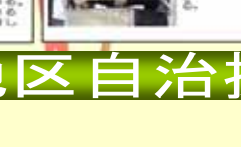
木造地藏立像 元は杉崎山の山の上に祀られ、安永の頃に火災に罹り、現地に移された。時に坂崎の地蔵が祀られていたと伝えられる。この地蔵は安永の頃のものと推定されているが、顔の半が欠けているのが特徴とされる。



杉崎神社 鬼の阿母の石像 杉崎神社は大神主が祀られている。御社の白鳥のごとく出社には鬼が仕えているため、当区では鬼まつりという。鬼まつりという。この由來により社殿には鬼まつりという。鬼の阿母の石像が祀られている。



木造地藏立像 元は杉崎山の山の上に祀られ、安永の頃に火災に罹り、現地に移された。時に坂崎の地蔵が祀られていたと伝えられる。この地蔵は安永の頃のものと推定されているが、顔の半が欠けているのが特徴とされる。



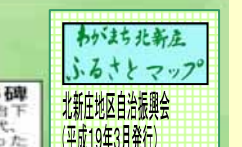
杉崎神社 鬼の阿母の石像 杉崎神社は大神主が祀られている。御社の白鳥のごとく出社には鬼が仕えているため、当区では鬼まつりという。鬼まつりという。この由來により社殿には鬼まつりという。鬼の阿母の石像が祀られている。



身代わり地蔵 日光寺のお地蔵さま。その昔、夜ごと家を出て寺詣りをする者の行動を怪しんだ天小僧が、地蔵のまわりこの地蔵の地から簀がかりで閉じ込められ、お地蔵さまが身代わりになって傷を負ったという伝説が残る。



柴田城跡碑 朝倉氏の統治下にあった時代、山崎氏が守った城があり、朝倉氏の滅亡後、柴田氏の勢力下に入ったため、柴田城と名づけられたと言われている。この付近3箇所に古城に関する字名がある。



北の地蔵 長尾町の北の端に屋敷の地蔵堂があり、平成11年(1999)7月お盆を新築した。お祭は、昭和の初期から80年近く続いている。毎年7月24日。



身代わり地蔵 日光寺のお地蔵さま。その昔、夜ごと家を出て寺詣りをする者の行動を怪しんだ天小僧が、地蔵のまわりこの地蔵の地から簀がかりで閉じ込められ、お地蔵さまが身代わりになって傷を負ったという伝説が残る。



柴田城跡碑 朝倉氏の統治下にあった時代、山崎氏が守った城があり、朝倉氏の滅亡後、柴田氏の勢力下に入ったため、柴田城と名づけられたと言われている。この付近3箇所に古城に関する字名がある。



北の地蔵 長尾町の北の端に屋敷の地蔵堂があり、平成11年(1999)7月お盆を新築した。お祭は、昭和の初期から80年近く続いている。毎年7月24日。



身代わり地蔵 日光寺のお地蔵さま。その昔、夜ごと家を出て寺詣りをする者の行動を怪しんだ天小僧が、地蔵のまわりこの地蔵の地から簀がかりで閉じ込められ、お地蔵さまが身代わりになって傷を負ったという伝説が残る。



柴田城跡碑 朝倉氏の統治下にあった時代、山崎氏が守った城があり、朝倉氏の滅亡後、柴田氏の勢力下に入ったため、柴田城と名づけられたと言われている。この付近3箇所に古城に関する字名がある。



北の地蔵 長尾町の北の端に屋敷の地蔵堂があり、平成11年(1999)7月お盆を新築した。お祭は、昭和の初期から80年近く続いている。毎年7月24日。



身代わり地蔵 日光寺のお地蔵さま。その昔、夜ごと家を出て寺詣りをする者の行動を怪しんだ天小僧が、地蔵のまわりこの地蔵の地から簀がかりで閉じ込められ、お地蔵さまが身代わりになって傷を負ったという伝説が残る。



柴田城跡碑 朝倉氏の統治下にあった時代、山崎氏が守った城があり、朝倉氏の滅亡後、柴田氏の勢力下に入ったため、柴田城と名づけられたと言われている。この付近3箇所に古城に関する字名がある。



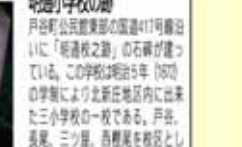
北の地蔵 長尾町の北の端に屋敷の地蔵堂があり、平成11年(1999)7月お盆を新築した。お祭は、昭和の初期から80年近く続いている。毎年7月24日。



身代わり地蔵 日光寺のお地蔵さま。その昔、夜ごと家を出て寺詣りをする者の行動を怪しんだ天小僧が、地蔵のまわりこの地蔵の地から簀がかりで閉じ込められ、お地蔵さまが身代わりになって傷を負ったという伝説が残る。



柴田城跡碑 朝倉氏の統治下にあった時代、山崎氏が守った城があり、朝倉氏の滅亡後、柴田氏の勢力下に入ったため、柴田城と名づけられたと言われている。この付近3箇所に古城に関する字名がある。



北の地蔵 長尾町の北の端に屋敷の地蔵堂があり、平成11年(1999)7月お盆を新築した。お祭は、昭和の初期から80年近く続いている。毎年7月24日。



身代わり地蔵 日光寺のお地蔵さま。その昔、夜ごと家を出て寺詣りをする者の行動を怪しんだ天小僧が、地蔵のまわりこの地蔵の地から簀がかりで閉じ込められ、お地蔵さまが身代わりになって傷を負ったという伝説が残る。



柴田城跡碑 朝倉氏の統治下にあった時代、山崎氏が守った城があり、朝倉氏の滅亡後、柴田氏の勢力下に入ったため、柴田城と名づけられたと言われている。この付近3箇所に古城に関する字名がある。



北の地蔵 長尾町の北の端に屋敷の地蔵堂があり、平成11年(1999)7月お盆を新築した。お祭は、昭和の初期から80年近く続いている。毎年7月24日。



身代わり地蔵 日光寺のお地蔵さま。その昔、夜ごと家を出て寺詣りをする者の行動を怪しんだ天小僧が、地蔵のまわりこの地蔵の地から簀がかりで閉じ込められ、お地蔵さまが身代わりになって傷を負ったという伝説が残る。



柴田城跡碑 朝倉氏の統治下にあった時代、山崎氏が守った城があり、朝倉氏の滅亡後、柴田氏の勢力下に入ったため、柴田城と名づけられたと言われている。この付近3箇所に古城に関する字名がある。



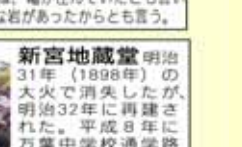
北の地蔵 長尾町の北の端に屋敷の地蔵堂があり、平成11年(1999)7月お盆を新築した。お祭は、昭和の初期から80年近く続いている。毎年7月24日。



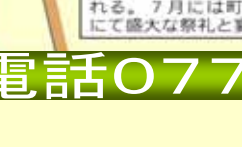
身代わり地蔵 日光寺のお地蔵さま。その昔、夜ごと家を出て寺詣りをする者の行動を怪しんだ天小僧が、地蔵のまわりこの地蔵の地から簀がかりで閉じ込められ、お地蔵さまが身代わりになって傷を負ったという伝説が残る。



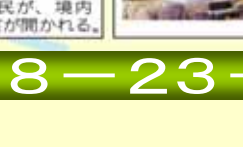
柴田城跡碑 朝倉氏の統治下にあった時代、山崎氏が守った城があり、朝倉氏の滅亡後、柴田氏の勢力下に入ったため、柴田城と名づけられたと言われている。この付近3箇所に古城に関する字名がある。



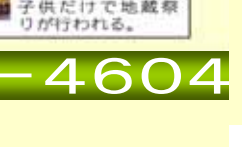
北の地蔵 長尾町の北の端に屋敷の地蔵堂があり、平成11年(1999)7月お盆を新築した。お祭は、昭和の初期から80年近く続いている。毎年7月24日。



身代わり地蔵 日光寺のお地蔵さま。その昔、夜ごと家を出て寺詣りをする者の行動を怪しんだ天小僧が、地蔵のまわりこの地蔵の地から簀がかりで閉じ込められ、お地蔵さまが身代わりになって傷を負ったという伝説が残る。



柴田城跡碑 朝倉氏の統治下にあった時代、山崎氏が守った城があり、朝倉氏の滅亡後、柴田氏の勢力下に入ったため、柴田城と名づけられたと言われている。この付近3箇所に古城に関する字名がある。



北の地蔵 長尾町の北の端に屋敷の地蔵堂があり、平成11年(1999)7月お盆を新築した。お祭は、昭和の初期から80年近く続いている。毎年7月24日。